

山武市の地域公共交通活性化総合事業の取り組み

(調査事業)

現状及び課題

- ・公共交通利用者の減少により既存公共交通体系の維持が困難となっている。
- ・合併前の交通体系が踏襲されているため、交通サービスに地域間格差が生じている。
- ・既存公共交通における非効率的な運行体系の見直しが必要となっている。
- ・市域全体の公共交通手段としての機能が果たしきれていない。

地域公共交通活性化の目標・方向性

- ・地域間の公共交通サービスの公平性を確保し、交通空白地域の解消を目指す。
- ・利用者ニーズや需要特性に適応した効率的で将来にわたり持続可能な交通システムの導入。
- ・市域の一体感の醸成や、地域コミュニティの向上などまちづくりを支援する公共交通体系の構築。

地域公共交通活性化のために実施する事業の内容

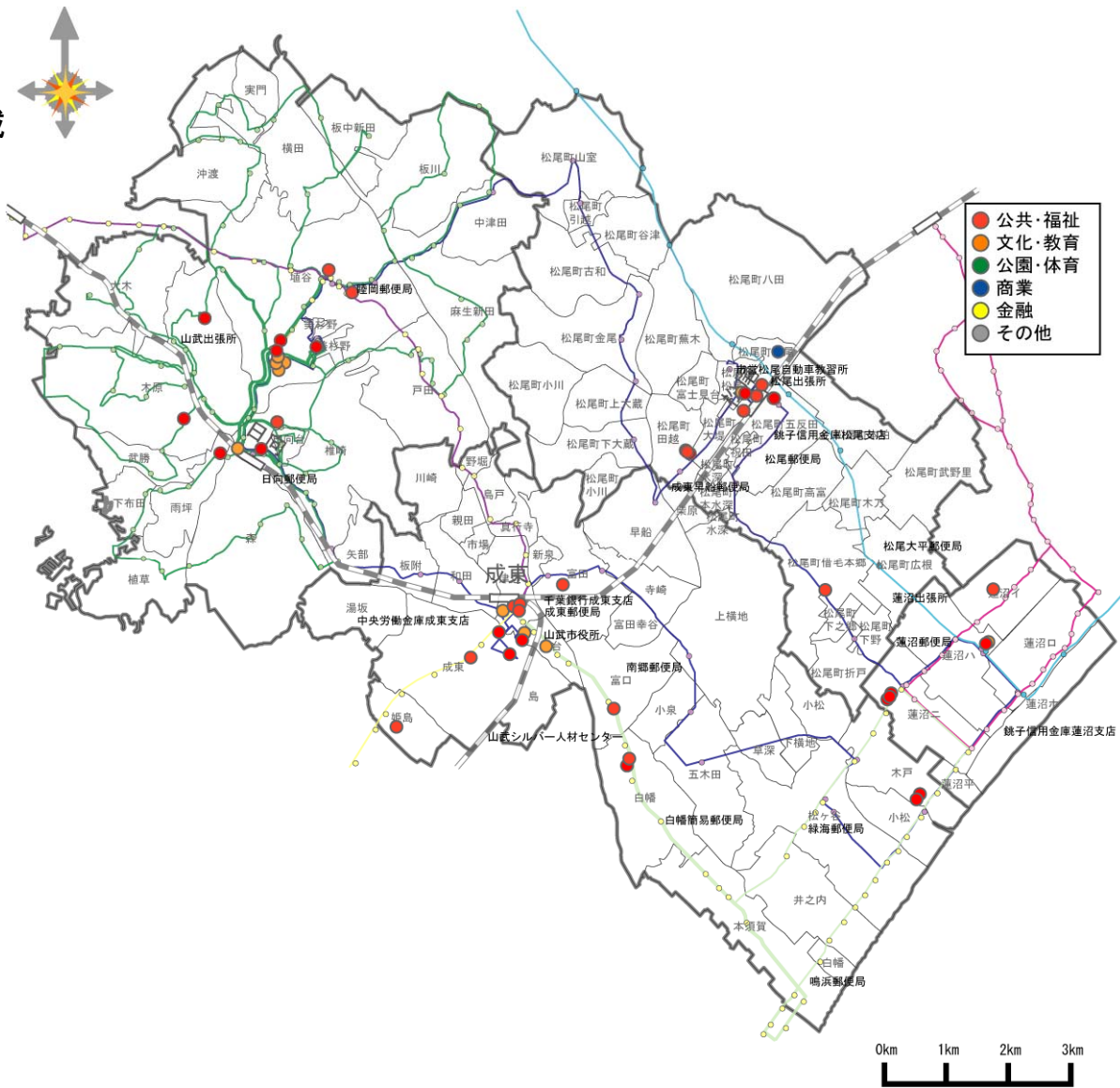
- ・運行形態別(コミュニティバス、乗合タクシー、連携型)の具体的な導入イメージを検討し、市民意見交換会を実施する。
- ・新たな公共交通体系の事業計画の検討(実証実験・本格運行)。
- ・実証実験、本格運行時の課題整理(市民、交通事業者、行政が担うべき役割分担について整理し、利用促進に向けた方策を検討する)。

事業実施区域資料

調査範囲：山武市全域



- ①海岸線（循環）
- ②海岸線（作田経由）
- ③八街線
- ④フラワーライナー（旧道経由）
- ⑤フラワーライナー（新道経由）
- ⑥シーサイドライナー
- ⑦蓮沼循環バス
- ⑧空港シャトルバス
- ⑨山武市巡回バス 東ルート
- ⑩山武市巡回バス 西ルート
- ⑪山武市巡回バス 南ルート
- ⑫山武市巡回バス 北ルート
- ⑬松尾教育所送迎バス



- 公共・福祉
- 文化・教育
- 公園・体育
- 商業
- 金融
- その他

